

OPEN SOUND DATA 国鉄急行型・特急型

操作説明書

2019/08/31

1. はじめに

今ではすっかりと減ってしまった国鉄型急行列車や特急列車。このサウンドデータを使って、模型の形で動態保存してみませんか？

歯車比を国鉄急行型の 77:22(3.50)にチューンナップした走行サウンドデータです。485 系特急型車両に最適です。近郊型や急行型と違う加速音の違いをお楽しみください。



2. 対応機種

ESU 社 LokSound 5, 5 micro

※LokSound V4 以前、LokSound Select には使用できません。

3. ファンクション一覧

F0	ヘッドライト・テールライト	
F1	パンタ上ゲ・MG・走行音	サウンド ON/OFF
F2	警笛	
F3	AUX1 [1]: 室内灯用出力	
F4	ATS・ATS 確認	※後述する操作手順有り
F5	非常制動	約 30%高減速度 ※後述する操作手順有り
F6	力行保ち/抑速	※後述する操作手順有り
F7	音量	
F8	レールジョイント	
F9	ブロー強制起動	※後述する操作手順有り
F10	フレンジ	
F11	手笛/ベル省略	※後述する操作手順有り
F12	開扉→手笛→閉扉	
F13	開扉→ベル 1 →閉扉	
F14	開扉→ベル 2 →閉扉	
F15	CP 強制起動	
F16	電制切	
F17	ブレーキ試験	(停車時)
F18	ABB	(交直両用車用)

4. 詳細な操作方法

4.1. アドレス

アドレスは 3 (ショート)がデフォルトです。

4.2. F4 ATS・ATS 確認

走行中：

【F4=ON】で ATS 警報鳴動、実車同様 5 秒以内に【F4=OFF】で ATS 確認操作とし、警報音が ATS 確認音に変わります。停車後数秒で自動復帰して ATS 確認音が鳴りやみます。

* ATS 確認音は「確認操作後」にスロットルを 230 以上に上げれば強制解除できます。

* 5 秒以内の確認操作に失敗した場合は ATS 警報音持続のまま非常ブレーキが動作し、強制的に減速を開始し強制停車後数秒後に警報停止します。

* ATS の確認失敗(F4)、または F5 での非常ブレーキ動作による強制停車の復帰手順

F4(ATS)操作による非常ブレーキ動作は**停車後**暫くした後自動復帰します。

F5 操作による非常ブレーキでは

- ① 当該ファンクションを OFF にすると**停車直前**で復帰します。
- ② ガッツリ停車させたい場合は停車後に当該ファンクションを OFF にして下さい。

停車中：

【F4=ON→OFF】で ATS 投入音

4.3. F6 力行保ち/抑速

惰行中に F6 を ON してからスロットルを上げると力行保ち、下げると抑速ブレーキになります。

4.4. F9 ブロー強制起動

ブローにつきましては、発車直前で自動投入され、停車後約 2 分で自動停止するようプログラムしておりますが、F9 ON することにより停車中も連続投入されます。

4.5. F1 1 強制閉扉 F1 2 ,F1 3 ,F1 4 ドア開閉音

ドア開閉音操作の時に F1 1 を ON,OFF するタイミングで発車ベルを省略または短縮させたり手笛を省略する為に使います。

1. F12,F1 3 ,F1 4 等のドア開閉音操作は走行中に ON にしておけば停止と同時にドア開き音が出ます。
2. ドア開き停車中ではスロットルを上げても起動しないようになっています。
3. ドア開き停車中に予めスロットルを上げておけばドア閉め後に自動的に起動を開始します。

4.6. F18 ABB

交直両用車用の交直切換時のサウンドです。

① ON すると空気遮断機音と同時に MG と CP が停止します。

② OFF すると暫くした後復帰し MG が起動します。

* 灯火類とは連動させておりません。

5. 著作・連絡先

本データの著作権は以下の制作者が有します。

・MB3110A

・うえだねじろう

音源提供

・でんきともこ

OPEN SOUND DATA のホームページを参照して下さい。

<https://desktopstation.net/sounds/>



以上